

2021年3月17日

グリーン調達ガイドライン

大同メタル工業株式会社



(はじめに)

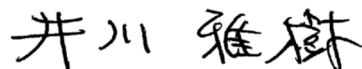
大同メタルグループでは、地球温暖化防止、持続可能な社会の実現、環境汚染の防止などが求められる中、地球環境保全を社会的使命ととらえ、従来より環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 シリーズに則った体制作りを実施してまいりました。

また、大同メタルグループでは、多数のお取引先様のご協力を頂きながら、原材料・副資材・包装材・梱包材等を調達実施の上、製造・販売しております。

このような中でより一層環境に寄り添った事業活動を進めていく上で、大同メタルグループは「グリーン調達ガイドライン」を策定し、今迄以上のパートナーシップを結び、環境負荷の少ない製品提供、環境負荷の低減や、環境リスクの回避を進めてまいりますので、今後ともご協力お願い申し上げます。

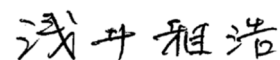
取締役兼専務執行役員（購買担当役員）

井川 雅樹



購買センターチーフ

浅井 雅浩



大同メタルグループの環境の取り組み

1. 大同メタルグループの環境保全

1.1 基本理念

大同メタルグループは、人類共通の財産である地球環境を保全することが、人類に課せられた最重要課題のひとつであることを強く認識し、信念と技術によって環境の保全に最善を尽くします。

1.2 基本方針

- 1) 大同メタルグループは、法規制を遵守し、自らの責任において、地球環境の保全に努める。
- 2) 大同メタルグループ全体で環境問題に取り組み、環境マネジメントの強化に努める。
- 3) 全ての事業活動において、省エネルギー、省資源、リサイクル、産業廃棄物の低減を徹底推進する。
- 4) 技術の総力を挙げて、環境保全・環境改善に貢献できる技術及び製品の開発を推進する。
- 5) お客様、地域社会、その他関係者に対して、環境に関する取組みを積極的に開示し、コミュニケーションに努める。
- 6) 社員一人ひとりの環境意識を高め、自ら責任を持って環境保全活動を遂行できるよう、環境教育・啓発活動を行う。

2. グリーン調達の方

2.1 目的

大同メタルグループは人類共通の財産である地球環境の保全に全力をつくすことを環境基本理念として、環境に配慮した企業から環境負荷の少ない製品・部品・材料を購入します。

2.2 グリーン調達とは

購入の必要性を十分に考慮し、品質、納期、価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること。

2.3 グリーン調達推進にあたってのガイドライン

大同メタルグループはグリーン調達を推進するため、取引先様の環境保全活動と取引先様から購入させていただく調達品の環境保全の状況を重要視しております。

お取引先様におかれましては、本ガイドラインを満たすべく、積極的に取り組んでくださいますようお願いいたします。

(1) 大同メタルグループが調達する調達品の選定にあたって

(1)－1 製品・サービスのライフサイクルが考慮されていること

- ① 「環境汚染物質等の削減」…環境や人の健康に影響を与えるような物質の使用や排出が削減されていること
- ② 「省資源・省エネルギー」…資源やエネルギーの消費がすくないこと
- ③ 「天然資源の持続的な利用」…生態系に与える影響が最小限であること・適切な資源管理が行われていること
- ④ 「長期使用性」…長期間の使用が可能であること
- ⑤ 「再使用可能性」…再使用が可能であること
- ⑥ 「リサイクル可能性」…リサイクルが可能であること
- ⑦ 「再生材料の利用」…再生材料や再使用部品を用いていること
- ⑧ 「処理・処分の容易性」…廃棄されるときに適正な処理・処分が容易なこと

(1)－2 お取引様において環境活動が取り組まれていること

3. お取引様への環境に関する各種お願い

お取引様の環境の取り組みに関して以下の表のようにまとめましたので
下記表によりご対応をお願いします。

	対象お取引様		弊社で使用する サービスなど
	弊社製品に係る 納入品目		
	製品 部品 加工品	原材料 副資材（*）	設備・物流・工 事・清掃・造園 など
3.1 環境マネジメントシステムの要件	○		○
環境関連法規制の順守	○		○
環境パフォーマンスの向上	○		○
3.2 化学物質の管理	○		—
	3.2. (1) の事項	3.2. (2) の事項	

（*）副資材・・・油類・塗料・薬品・接着剤・溶剤・梱包資材など。

3.1 環境マネジメントシステムの要件

（ア）ISO14001（用語集(1)参照）の外部認証を取得している。また、取得計画がある。

（イ）上記（ア）以外の場合、以下の取り組みを推進している。

- ①環境保全について企業理念・方針・目標を定めているか、それに準ずるものがある。
- ②環境に配慮した活動を進めるための組織・体制がある。
- ③環境関連法規制の入手および遵守、環境負荷低減のための目標設定など、環境活動を推進する仕組みがある。
- ④環境活動の推進状況を確認する仕組みがある。
- ⑤環境に関する教育や啓発を行っている。

3.2 化学物質管理

化学物質の使用に関しては、欧州のELV・RoHS指令やREACH規則（用語集(2),(3),(4)参照）をはじめとして、各国で法制化が進んでおります。そのような世界の動きの中、大同メタルグループでは、環境関連法令等を遵守した製品の生産を行うため製品含有化学物質管理に取り組んでおります。お取引先様にも、法規制順守・化学物質の規制への対応という観点から以下のようにご協力をお願い致します。また、お取引先様サプライチェーンへも同観点にてご協力をお願い致します。

(1) 大同メタルグループに製品・部品・加工品を納入いただいているお取引先様

1) 化学物質の情報提供

納入品について、当グループより製品含有化学物質調査の要求がある時は含有ありなし、含有化学物質、含有量の調査回答をお願いします。

2) 当グループが定める管理対象物質を含んだ製品・部品・加工品の納入禁止 (特別に許可する場合を除く)

3) 当グループが定める管理対象物質の生産工程での使用廃止または使用量削減に努めていただきますようお願いいたします。

(2) 大同メタルグループに原材料・副資材を納入いただいているお取引先様

1) 化学物質の情報提供

① SDS (安全データシート) (用語集(5)参照)

ー日本語で書かれており、日本の適用法規が記載されていること

防錆剤を使用している梱包資材も該当いたしますので、SDSのご提供をお願いします。

②当グループの仕様に基づく含有成分の情報：検査成績書など

③納入品について、当グループより製品含有化学物質調査の要求がある時は含有ありなし、含有化学物質、含有量の調査回答をお願いします。

2) 当グループが定める管理対象物質を含んだ原材料・副資材の納入禁止 (特別に許可する場合を除く)

3) 当グループが定める管理対象物質の生産工程での使用廃止または使用量削減に努めていただきますようお願いいたします。

大同メタルグループが定める管理対象物質

①ELV指令対象物質：鉛、水銀、カドミウム、六価クロム

(一部適用除外用途あり)

②RoHS指令対象物質：鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、フタル酸ジブチル、フタル酸ジブチルベンジル、フタル酸ジイソブチル (一部適用除外用途あり)

③REACH規則高懸念物質

④GADSL対象物質 (用語集(6)参照)

⑤化審法対象物質 (用語集(7)参照)

4. お取引先様への調査協力をお願い事項

4.1 調査目的

お取引先様の環境管理体制の現状を把握し、自己評価により改善に繋げていただく。

4.2 調査範囲

お取引先様の環境保全活動に関する取り組みについて

4.3 調査方法

アンケートによる。(別紙① グリーン購買活動における調査票参照)

4.4 調査頻度

お取引先様の環境保全に関する取り組みについて必要に応じて調査を実施する。

4.5 改善支援

必要に応じて、大同メタルグループが取引先様の活動状況を確認させていただく場合があります。

この時、環境安全センターが資料提出、現場確認などをお願いし、希望により改善支援を行います。

5. その他

本ガイドラインは、適宜見直し改訂を行います。

グリーン購買活動における調査票

別紙①

(原材料、副資材に関わる取引先対象) 大同メタル工業(株)購買センター

仕入先コード			
会社名			
所在地			
ご回答者氏名		記入日	
部署		役職	

御社の環境保全に対する取り組みについて、各項目に回答をお願いします。

1. 環境管理システム(環境マネジメントシステム)に関する調査項目

(取得している場合は「○」、取得計画のある場合は「△」、取得計画のない(取得しない)場合は「×」を記入してください。)

項目	基準	状況(○、△、×)
環境管理システム	ISO14001を認証取得している	
認証取得事業所名	取得年月	認証番号
		認証機関名

※上記以外の環境管理システムを運用されている場合は、その活動名を下表にご記入ください。

また、取得計画のある場合はいつ頃取得予定かを、取得計画のない(取得しない)場合はその理由を下表にご記入ください。

活動名又は運用名及び取得計画のない(取得しない)理由

2. 環境管理への取り組みに関する調査項目(状況欄に記入願います)

1. において、未取得および取得計画がない場合は下記の項目のご記入をお願いします。

(ある・している場合は「○」、ない・していない場合は「×」を記入してください)

項目No.	基準	状況(○、×)
1	環境保全に関する企業理念又は方針がある	
2	環境保全担当役員がおり、推進組織・体制がある	
3	環境保全に関する社内規定がある	
4	事業活動や製品、サービスについて環境負荷や環境影響を調査し評価している	
5	事業活動に関係する環境関連法規制を特定し、遵守する仕組みがある	
6	環境負荷低減のための目的又は目標を設定し、計画し、実施している	
7	環境管理のための施設、設備等があり、監視及び測定している	
8	事故、災害等の緊急事態に対応する仕組みがあり、訓練している	
9	監査によって、法規制の遵守を含む環境管理活動をチェックする仕組みがある	
10	経営者が環境管理活動をレビューし継続的改善を図る仕組みがある	

3. 環境保全活動への取り組みに関する調査項目(状況欄に記入願います)

1. で取得(計画含む)・未取得に関わらず、ご記入をお願いします。

(ある・している場合は「○」、ない・していない場合は「×」、計画中は「△」を記入してください)

項目No.	基準	状況(○、△、×)
1	地球温暖化防止、省エネルギー活動に取り組んでいる	
2	省資源活動、廃棄物の削減・減量化あるいはリサイクルに取り組んでいる	
3	化学物質管理に関する国内外法に対応している	
4	大気、水質、土壌等への汚染防止活動に取り組んでいる	
5	御社および御社のサプライチェーンは製品及び取扱う原材料の化学物質を管理している(製品中の化学物質組成と危険有害性情報、管理対象物質の情報と削減)	
6	製品の輸送に伴う省エネルギーを推進している	
7	環境負荷低減に配慮した製品開発に取り組んでいる	
8	グリーン調達、グリーン購入を全社的に推進している	
9	従業員に対して環境保全に関する教育を行っている	
10	環境保全活動に関する情報を公開している	
11	御社のサプライチェーンに3. の1~10の取り組み状況を確認している	

※ご記入いただき有難うございました。本情報は弊社の環境管理・保全調査目的に限って使用し、他目的には使用しません。

用語集

- (1) ISO14001
環境マネジメントシステムに関する国際規格
- (2) ELV 指令
EU の使用済み自動車が環境に与える負荷を低減するための指令
- (3) RoHS 指令
EU の電気・電子機器における特定有害物質の使用制限規制
- (4) REACH 規則
EU の化学品の登録・評価・認可および制限に関する規則であり、SVHC はこの規制による高懸念物質のことで認可・登録すべき物質が指定されている
- (5) SDS
Safety Data Sheet の略称。化学物質等 安全データシート
- (6) GADSL
自動車業界で作成された管理化学物質リスト
- (7) 化審法
人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息・生育に支障を及ぼすおそれがある化学物質による環境の汚染を防止することを目的とする法

以上